

東通村原子力発電所安全対策委員会開催

～ 安全協定の運用・原子力防災の取組の状況などを報告 ～



越善村長挨拶

3月23日、東通村防災センターにおいて、東通村原子力発電所安全対策委員会が開催されました。

この委員会は、村内の関係機関の長等により構成されており、原子力発電所の状況の報告や確認などを行うとともに、ご意見などを伺い、村として、様々な対応をしていくため設置しているものです。

会議では、越善村長の挨拶の後、村から、東通原子力発電所東北電力1号機の安全協定の運用状況、原子力防災の取組状況や今後の計画、原子力防災訓練の実施状況、緊急被ばく医療体制の検討状況などについて報告をしました。



会議の風景

委員から、発電所から5km以遠の放射線防護対策実施済みの屋内退避施設に対する安定ヨウ素剤の確保を含めた対策の検討、避難地域時検査の体制や訓練の充実などについてご意見等がありました。

また、東北電力(株)及び東京電力ホールディングス(株)から、それぞれの状況について説明がありました。

福島第一原子力発電所事故から7年が経過しましたが、東北電力1号機は、原子力規制委員会の新規制基準適合性に係る審査が継続中です。

東北電力では、安全対策工事は平成31年度のできるだけ早い時期の完了を目指し、その後、地域の理解を得ながら準備が整った段階での再稼働を目指すとしています。

また、東京電力1号機は、



東北電力・東京電力から状況説明

福島第一原子力発電所の事故への対応を最優先するため、一部の作業を除き、本格工事の開始を見合わせている状況です。

東京電力では、「東通は重要な地点」であるとし、共同事業化の方針が示されましたが、未だ、本格工事再開の見通しは示されておりません。

一方、国・県・事業者においては、福島第一原発の事故を踏まえ、原子力防災対策や安全対策について、引き続き、様々な検討が進められています。

村としても、これらの状況を踏まえ、今後も、村民の安全と安心のため、全力で取り組んでまいります。

旧老部児童館が“学習塾てらこや”に再生！



坂本氏(左)と越善村長(右)

村では、村内の廃校舎等有効活用することにより、新たな雇用を創出し、地域や村の活性化に結び付けることを目的に、昨年度より廃校舎の利活用事業者の募集を行ってまいりました。

この度、老部出身の坂本貴幸氏から旧老部児童館(平成24年3月閉館)で「学習塾てらこや」を開校したいと応募があったことから、村では貸付けを決定し、4月16日に貸付契約の締結がなされました。地域学生の学力向上、地域での創業・起業できる人材の育成等を目的とした「学習塾てらこや」は、6月頃の開講を目指し、施設整備、生徒の募集を行っていく予定です。